

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
09時47分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02483 公民館施設管理事業

所属長名 久野 晃広
担当者 上原 幹久
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	006	公民館施設管理事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	安城市公民館の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	公民館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようになる。
手段	施設の利用に関する受付事務及び施設の維持に係る改修、修繕、委託事務を実施します。
事務内容	施設の利用に関する受付事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	439,906	1,926,724
事業費	0	374,071	1,867,189
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	600,000
その他	0	42,134	647,930
一般財源	0	331,937	619,259
人件費計	0	65,835	59,535
正規（人）	0.00	10.45	9.45
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		施設の利用受付 施設の適正な維持管理を実施 文化センター大規模改修工事	施設の利用受付 施設の適正な維持管理を実施 文化センター大規模改修工事

事務事業評価シート (2/2)

2頁
平成30年 8月 7日
09時47分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02483 公民館施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
部屋利用率 (利用部屋数÷利用可能部屋数)	%	0.00 0.00	47.00 49.50	47.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ホールや会議室の貸館は他にも多く行っています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ホールや会議室の貸館は他にも多く行っています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	継続的な利用者も多く目標どおりに進捗しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	民間活力の活用など検討を進めています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設のあり方について課題を整理する必要があります		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	施設の利用者が快適に施設をりようできるように老朽化する施設の保全とともに今後も継続して施設整備を実施していきます。また、施設のあり方について、多様化する市民活動など時代の変化にどのように適応するか課題の抽出と十分な検討のため情報収集を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月 7日
09時47分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

所属長名 久野 晃広
担当者 上原 幹久
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	005	市民会館施設管理事業		
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市民会館条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民会館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようになる。
手段	市民会館の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	68,176	73,074
事業費	0	66,916	71,814
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	66,916	71,814
人件費計	0	1,260	1,260
正規（人）	0.00	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
平成30年 8月 7日
09時47分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習施設管理係
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
会議室利用率	%	0.00	50.00	50.00
		0.00	55.84	0.00
サルビアホール利用率	%	0.00	50.00	50.00
		0.00	69.98	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ホールや会議室の貸館は他にも多く行っています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	発表会、講演会、会議利用などニーズは多くあります		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	利用率は目標を上回り、多くの人が利用しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な事業運営をしています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	民間の企業力やノウハウを生かし、水準を保っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成27年度より指定管理者制度を採用し、平成30年度から5年間の新たな指定管理期間が始まっています。利用率の低下にならないように指定管理者との連絡調整を密にし、事業内容の確認、助言や指示を行っていきます。また、利用者が快適に施設を利用できるよう適切な維持補修等を実施するとともに、利用者サービス向上に向けて継続的に指定管理者の管理運営の監視及び指導を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02485 天文普及事業

所属長名 久野 晃広
担当者 上原 幹久
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	010	天文普及事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・天文普及事業 ・プラネタリウム投映事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	天文の基礎知識を気軽に学ぶことができ、更に興味、関心を深めることができるようになる。
手段	幅広い年齢層を対象にした一般投映では広く天文普及を目指した番組を投映し、幼児や小中学生を対象にした団体投映では未来を担う子どもたちに宇宙に関する興味を抱かせるとともに、学校の授業の理解向上に繋がる番組を投映します。
事務内容	プラネタリウムの投映と番組更新及び天文講座等に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	14,998	33,006
事業費	0	12,478	30,486
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	408	2,575
一般財源	0	12,070	27,911
人件費計	0	2,520	2,520
正規（人）	0.00	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小中学校等観覧者の年齢に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小中学校等観覧者の年齢に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施

事務事業評価シート（2/2）

6頁
平成30年 8月 7日
09時47分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02485 天文普及事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般投映及び団体投映 観覧者数	人	0.00 0.00	9,000.00 16,735.00	9,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	プラネタリウムの投映は、他にも多く行っています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	天文を楽しめる場、知識を得る場としてニーズはあります		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	観覧者数は目標を上回っています		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	専門知識等が必要とする事業として委託化し効率化を図っています		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較しても水準は保たれています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が天文に対し興味を持ち、学ぶことができるプラネタリウムとして、魅力ある投映を実施していきます。また、天文に関する興味、関心、想いを啓発し、天文の基礎知識及び天文現象等に対する探究心や知識を高めるため、特別投映、天体観測会、天文講座等を実施していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月 7日
09時47分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

所属長名 久野 晃広
担当者 上原 幹久
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	004	安祥閣施設管理事業		
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安祥閣の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	安祥閣の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようになる。
手段	安祥閣の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,369	7,898
事業費	0	6,109	6,638
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	6,109	6,638
人件費計	0	1,260	1,260
正規（人）	0.00	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
部屋利用率 (利用部屋数÷利用可能部屋数)	%	0.00 0.00	28.90 23.47	28.90 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	部屋の貸館は他でも多く行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	部屋の仕様が和室のみであり、利用が限定されます		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	和室利用限定となり、目標を下回る状況です		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な事業運営をしています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	民間の企業力やノウハウを生かし、水準を保っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成18年度より指定管理制度を採用しています。和室限定の部屋仕様ということもあり、お茶会などで利用していただいているものの利用率について伸び悩んでいるのが現状です。また施設竣工より39年が経過し老朽化する中で、バリアフリー対策等も含めた施設整備を行うかべきか総合的な視野のなかで施設の存続、廃止のあり方を検討する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
09時48分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

所属長名 久野晃広
担当者 天野信治
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	003	生涯学習計画推進事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第2号、第13条、第15条～第18条			
備考				

【事業分析】

対象	生涯学習推進計画が
目的	計画どおりに進捗する。
手段	平成28年3月に第3次安城市生涯学習推進計画を策定し、計画の進行管理・評価を定期的実施する場として、社会教育審議会に毎年度計画の進捗状況を報告し、意見・提言を得る機会を設けます。
事務内容	生涯学習推進計画の施策・事業の進捗管理、関係部局の関連事業の調査 社会教育審議会の開催、社会教育委員の各種研修会・大会等への参加等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	2,265	3,031
事業費	0	375	511
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	375	511
人件費計	0	1,890	2,520
正規（人）	0.00	0.30	0.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		社会教育審議会において、第3次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育審議会において、第3次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加

事務事業評価シート（2/2）

2頁
平成30年 8月 7日
09時48分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	0.00 0.00	13,100.00 12,682.00	13,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の計画であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	計画を推進することで市民の生涯学習の推進に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって増減はあるが、概ね順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	社会教育委員の方々に研修会等に参加していただいている。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	委員報酬は市の基準とおりです。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会教育法に定められた社会教育委員は、市の社会教育に対して助言をいただける重要な役割があり、社会教育委員の方々に県の社会教育連絡協議会の研修会等に参加いただき、多様な生涯学習施策の情報や他市の生涯学習活動について情報交換いただき、本市の今後の生涯学習の推進に引き続きご意見、ご提言をいただくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月 7日
09時48分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

所属長名 久野晃広
担当者 岩田直人
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	004	生涯学習市民参画推進事業		
事業期間	平成13年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考				

【事業分析】

対象	生涯学習に意欲のある市民団体が
目的	市と協働することにより、活発に活動できるようになる。
手段	市民団体が企画運営する講座を募集し、市と協働で市民企画講座を開催します。 自主グループが自ら主催する初心者向けの自主グループ主催講座を開催します。
事務内容	講座の募集、開講講座の審査・決定、講座開催の周知・PR、講座の開催等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	6,193	7,602
事業費	0	1,153	2,247
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	119	75
一般財源	0	1,034	2,172
人件費計	0	5,040	5,355
正規（人）	0.00	0.80	0.85
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		市民企画講座を前期・後期で開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知	市民企画講座を開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
1年間に新たに活動を始めた自主グループ数	グループ	0.00	0.00	19.00	39.00	19.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民団体の事業で、他の事業主体が行うものではありません。			
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの団体、自主グループが活動しています。			
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2	目標を下回る進捗状況である	
		3	進捗はかなり遅れている	
理由	目標値以上の自主グループが活動しています。			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座の企画、運営は市民団体の方が実施しています。			
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	団体の方が、時代や環境に即した講座を実施しています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	多様化する学習ニーズや社会的ニーズに柔軟に対応するため、市民自らが企画・運営し、市民同士で楽しみながら、学び、教える生涯学習活動を目指すための重要な事業として本事業を実施していくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月 7日
09時48分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

所属長名 久野晃広
担当者 鳥居有香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	009	家庭教育・子育て支援事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第7号、公民館の設置及び運営に関する基準第4条			
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の親が
目的	子育てに関する講座の受講や、親どうしの交流の機会を多く得ることができるようになる。
手段	よりよい家庭教育の推進、社会教育の観点から子育ての支援を図るため、家庭教育講演会や子育て・親育ち広場を開催します。
事務内容	家庭教育講演会における講師の選定・委託、開催 子育て・親育ち広場の運営委託等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	3,683	4,670
事業費	0	1,163	1,520
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	1,163	1,520
人件費計	0	2,520	3,150
正規（人）	0.00	0.40	0.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		家庭教育講演会の開催 ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催	家庭教育講演会の開催 ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催 安城市小中学校PTA連絡協議会の活動を支援するため補助金を交付

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ほのほの広場への参加人数	人	0.00 0.00	450.00 1,136.00	450.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域の母親対象の事業で、他の事業主体が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年、多くの市民の方に参加いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値を大きく上回る市民の方々の参加をいただいています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	NPO法人の方に事業の運営をお願いしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても様々な家庭教育事業が実施されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会全体が家庭における子育てや教育を応援し支えていく必要が求められ、地域において親の学びを支援する継続的な取り組みを行っていくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月 7日
09時48分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

所属長名 久野晃広
担当者 岩田直人
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	002	生涯学習情報提供事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第16号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第2項			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	生涯学習情報を容易に得ることができる。
手段	市の生涯学習情報を掲載した情報誌「あんでな」を発行し、市内に全戸配布し、生涯学習情報を市民に提供します。
事務内容	生涯学習情報の収集、情報誌作成委託業者の選定・委託等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	9,454	11,995
事業費	0	6,934	7,900
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	570	840
一般財源	0	6,364	7,060
人件費計	0	2,520	4,095
正規（人）	0.00	0.40	0.65
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回 有料広告掲載	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回 有料広告掲載

事務事業評価シート (2/2)

8頁
平成30年 8月 7日
09時48分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生涯学習情報誌の発行回数	回	0.00 0.00	4.00 4.00	4.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の情報提供であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民が生涯学習の情報を得る手段として利用されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの発行ができています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ICTの活用などによる情報提供をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても様々な方法で情報提供されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が気軽に手にして活用していただけるよう、多様な情報提供を進めるとともに、より分かりやすい、使いやすい情報誌となるようにICTの活用による情報提供を加えるなど、市民が生涯学習情報を得る重要な手段として継続的に実施していくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02492 ものづくり推進事業

所属長名 久野晃広
担当者 鳥居有香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	008	ものづくり推進事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第8号、第13条、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・社会教育団体支援事業 平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から以下の事業に統合します。 ・公民館講座事業			

【事業分析】

対象	社会教育団体が
目的	有意義で円滑な活動を図ることができる。
手段	社会教育団体に対し補助金を交付し、財政面から団体の運営を支援するとともに、事務の支援・指導を通して団体の活動が円滑に運ぶように支援する。
事務内容	補助金の交付、団体事務の支援と指導、関係機関との調整等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	6,862	0
事業費	0	2,137	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	2,137	0
人件費計	0	4,725	0
正規（人）	0.00	0.75	0.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		安城市少年少女発明クラブの活動を支援するための補助金を交付 豊田高等専門学校によるプログラミング講座を開催	

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02492 ものづくり推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
少年少女発明クラブの クラブ員数	人	0.00 0.00	100.00 106.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	講座、団体補助金交付で他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	プログラミング講座など市民の関心が高い事業です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値以上の希望があり、順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	連続講座により学習効果を高める工夫をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の施設でも同様の講座等を多数開催しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	小学校でのプログラミング教育の必須化などを受け、プログラミングやものづくりを学ぶ機会の提供が必要です。また、子どもたちへものづくりの技術・思考を伝承する学習の機会を充実できるよう少年少女発明クラブの活動がより一層充実するように支援が必要です。 なお、平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から公民館講座事業に統合します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02493 公民館講座事業

所属長名 久野晃広
担当者 鳥居有香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	007	公民館講座事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考	平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から以下の事業を統合します。 ・公民館講座事業 ・シルバーカレッジ事業 ・市民大学事業 ・ものづくり推進事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	多様な学習機会の提供を受けることができる。
手段	趣味・教養・健康づくりなど、一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学びの機会を提供し、ライフステージ、学びのレベルに応じた学習機会の提供を進めます。
事務内容	講座の企画、講師の依頼、周知、受講生の募集、開催、謝礼の支払

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	85,037	100,081
事業費	0	8,177	17,866
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	1,771	1,680
一般財源	0	6,406	16,186
人件費計	0	76,860	82,215
正規（人）	0.00	12.20	13.05
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		地区公民館10館で公民館主催講座を開催 地区公民館5館で家庭教育学級を開催 地区公民館5館で乳幼児学級を開催 地区公民館10館で高齢者教室を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、文化センターでシルバーカレッジ、ものづくり講座等を開催

事務事業評価シート (2/2)

12頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02493 公民館講座事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	0.00	13,100.00	13,500.00
		0.00	12,682.00	0.00
少年少女発明クラブのクラブ員数	人	0.00	100.00	100.00
		0.00	106.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館講座であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年、多くの市民の方に受講いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって、増減はあるが概ね順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ネット利用など募集方法や開催方法の見直しをしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の施設においても、同様の講座等を実施しています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会情勢が刻々と変化しており、生涯学習に求められるテーマもますます多様化する中で、市民一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学習機会の充実を図るため、市民にニーズにあった講座・教室を開催していく必要があります。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

所属長名 久野晃広
担当者 太田菜月
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	006	公民館地域ふれあい事業		
事業期間	昭和55年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条、第20条、公民館の設置及び運営に関する基準第6条			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・公民館地域ふれあい事業 ・公民館まつり事業 ・公民館文化事業			

【事業分析】

対象	地域住民や地区公民館の利用団体が
目的	地域における交流を深めるようになる。
手段	地区公民館において、地域住民や利用団体が交流する機会と、学習の成果を発表する機会を提供するため、ふれあい事業や公民館まつり等の事業を実施します。
事務内容	地域代表の住民等と事業内容の検討、事業の住民へのPR、事業の実施及び予算の執行

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	103,437	101,159
事業費	0	9,567	11,069
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	18	0
一般財源	0	9,549	11,069
人件費計	0	93,870	90,090
正規（人）	0.00	14.90	14.30
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり、どろんこまつり、ウォーキング大会等の開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり、どろんこまつり、ウォーキング大会等の開催

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
公民館まつり等のふれあい事業参加者数		0.00	40,000.00	40,000.00
		0.00	42,394.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館の地区が対象であり、他の事業者が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	公民館の地区が対象であり、他の事業者が行うものではありません		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	毎年、多くの方に参加いただいています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	自主グループやボランティアの方々に協力をいただいています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の施設においても同様の事業が実施されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地区公民館において、幅広い世代の地域住民の交流を広げるために、各地域、公民館において地域住民のニーズにあった特色を出した事業を展開していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

15頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02495 市民大学事業

所属長名 久野晃広
担当者 岩田直人
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	005	市民大学事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考	平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から以下の事業に統合します。 ・公民館講座事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	社会課題について関心をもつようになる。
手段	社会課題をテーマとして、著名な文化人・学者等、第一線で活躍している方の考え方を学び、市民がこれからの人生へ生かす学習機会とするため市民大学を開催します。
事務内容	市民大学の講師の選定・委託、開催

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	8,533	0
事業費	0	4,123	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	2,075	0
一般財源	0	2,048	0
人件費計	0	4,410	0
正規（人）	0.00	0.70	0.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		安城市民大学を開催 前期2回講座 後期2回講座	

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02495 市民大学事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市民大学平均受講者数	人	0.00 0.00	900.00 861.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民への講座であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年、多くの市民の方に受講いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって増減はあるが、概ね順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講師派遣を民間事業者に委託しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体も同様の講座を開催しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	児童から高齢者まで、より多くの市民の方が生涯学習を学んでいただく貴重な機会として継続的に開催し、開催に際してはより多くの市民の方に聴講していただけるよう民間活力を活用し、業務委託するなど事務の効率化・簡素化を進めていくことが必要です。 なお、平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から公民館講座事業に統合します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

17頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02496 シルバーカレッジ事業

所属長名 久野晃広
担当者 天野信治
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	004	シルバーカレッジ事業		
事業期間	平成8年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考	平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から以下の事業に統合します。 ・公民館講座事業			

【事業分析】

対象	シルバーカレッジの受講生が
目的	教養と社会適応能力を高め、生涯学習活動を実践するようになる。
手段	2年間を通じたシルバーカレッジを開催し、高齢者にふさわしい社会適応能力を高め、仲間づくりを含め、積極的に生きがいを求める学習機会を提供します。また、卒業後の社会貢献活動を支援するためシルバーカレッジステップアップ講座を開催します。
事務内容	講座の案内、受講生の募集、講師の選定、講座の開催

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	5,899	0
事業費	0	859	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	192	0
一般財源	0	667	0
人件費計	0	5,040	0
正規（人）	0.00	0.80	0.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		シルバーカレッジを開講 1年生・2年生 各2 3回講座 シルバーカレッジステップアップ講座を開催	

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02496 シルバーカレッジ事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
シルバーカレッジ受講者数	人	0.00 0.00	80.00 95.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館講座であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの応募があり、毎回定員一杯で開催しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る参加があります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	受講生に講座の準備をしていただくなどしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	高齢者が増加する中、高齢者向け講座は増えています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後ますます増加するシルバー世代の社会参加・学習の重要な機会として、また生きがづくり、仲間づくりとしてシルバーカレッジを継続的に実施していく必要があります。 なお、平成29年度の事務事業の見直しにより、平成30年度から公民館講座事業に統合します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

19頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02497 放課後子ども教室推進事業

所属長名 久野晃広
担当者 鳥居有香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	003	放課後子ども教室推進事業		
事業期間	平成20年度～平成29年度	10	年間	
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	教育基本法第12条第2項、社会教育法第5条第1項第13号			
備考				

【事業分析】

対象	子どもたちが
目的	体験と交流により心豊かで健やかに成長する。
手段	放課後の子どもたちの安全な居場所の確保と地域住民との交流を通し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、小学校を拠点に放課後子ども教室を実施します。
事務内容	実施校との調整、実施の周知、臨時職員の雇用、教室の開催

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	2,500	0
事業費	0	1,240	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	703	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	537	0
人件費計	0	1,260	0
正規（人）	0.00	0.20	0.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		放課後子ども教室を開催 梨の里小学校・今池小学校 平成29年度末で閉鎖	

事務事業評価シート（2/2）

20頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02497 放課後子ども教室推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
放課後子ども教室参加人数	人	0.00 0.00	70.00 70.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国の制度であり、民間等が行うサービスではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	放課後の子どもたちの安全な居場所確保ができます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標と同数の参加人数がありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講師として地域の方々に依頼して開催しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においては、拡充している自治体もあります。		

【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	余裕教室の活用を目的として実施してきた放課後子ども教室は、市の推進する少人数学級と放課後児童クラブの学年拡大に伴い、教室の確保が必要であることから平成29年度末で廃止しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

21頁
平成30年 8月 7日
09時48分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02498 講座等参加支援事業

所属長名 久野晃広
担当者 鳥居有香
電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	002	講座等参加支援事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	託児者、手話通訳者、要約筆記者の手配、報償費の支払、託児世話人研修会の開催、託児世話人賠償責任保険の加入

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	5,983	6,781
事業費	0	4,723	5,521
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	82	75
一般財源	0	4,641	5,446
人件費計	0	1,260	1,260
正規（人）	0.00	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		託児付講座の開催 市民大学における手話通訳者・要約筆記者の設置	託児付講座の開催 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02498 講座等参加支援事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市事業での託児、手話通訳者派遣で他で行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方に利用していただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	NPO法人、市民団体等に託児世話人をお願いしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも、託児や手話通訳者の設置は行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	女性活躍推進法、障害者差別解消法が制定・施行され、育児に携わる女性の社会参加を促すため、生涯学習の機会を提供することが重要であり、子育て世代の生涯学習を推進していくため、市民や市民団体の協力を得ながら、託児付きの公民館講座を継続的に開催していく必要があります。また、障がい者に対しても手話通訳者や要約筆記者を設置した講演会等の開催など障がい者に対する差別解消の施策が必要となる中で、今後も本事業に取り組んでいく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	001	青少年の家管理運営事務		
事業期間	昭和58年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市青少年の家の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	青少年の家利用者が
目的	施設を快適に利用することができる。
手段	青少年が研修を行うため施設内の部屋を貸し出し研修をする場所を提供します。
事務内容	利用申請書の受付、施設管理事務等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	18,139	20,581
事業費	0	14,989	18,061
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	1,796	2,042
一般財源	0	13,193	16,019
人件費計	0	3,150	2,520
正規（人）	0.00	0.50	0.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		青少年の家利用回数4 491 利用人数87,455	青少年の家利用回数4 000 利用人数60,000

事務事業評価シート (2/2)

2頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青少年の家利用登録団体数青少年団体	団体	0.00	70.00	70.00
		0.00	88.00	0.00
青少年の家利用登録団体数一般団体	団体	0.00	70.00	70.00
		0.00	113.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	内部事務であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	適切な管理運営が市民サービスの向上に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	安城市体育館の利用者が青少年の家を利用する機会が増えました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用予約一斉受付は体育室と他を分けて混雑を緩和しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	安城市体育館が利用できない期間に多く利用されました。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年度は安城市体育館が改修工事により利用できない期間があったため、そちらをよく利用している方々が、青少年の家の体育室を利用する機会が増えました。 今後も、施設の適切な利用について、手引きなどにより利用する団体へ周知を図ります。また、電気、ガス、水道使用量、消耗品等の購入など需用費についてコスト意識を持ち、運営します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02500 少年団体支援事業

所属長名 久野 晃広
担当者 田中 千裕
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	003	少年団体支援事業		
事業期間	昭和59年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・少年団体育成事業 ・地域ぐるみ親子ふれあい推進事業			

【事業分析】

対象	小学生が
目的	活動を通して健全育成が図られます。
手段	活動する団体等（スカウト、子ども会又は小学校区単位での親子ふれあいの事業）に対して補助を行うことで健全育成活動の円滑化を図ります。
事務内容	安城市スカウト連絡協議会、安城市子ども会育成連絡協議会、又は同協議会における各学区育成会の計画・補助金の申請、事業実施、事業報告、補助金の交付。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	13,073	12,366
事業費	0	8,978	8,271
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	8,978	8,271
人件費計	0	4,095	4,095
正規（人）	0.00	0.65	0.65
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		安城市子ども会加入者数7,062人 スカウト加入者数381人 地域ぐるみ親子ふれあい推進事業参加者数子ども3,232人 大人1,795人 合計5,027人	安城市子ども会加入者数6,700人 スカウト加入者数380人 地域ぐるみ親子ふれあい推進事業参加者数子ども3,000人 大人2,000人 合計5,000人

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02500 少年団体支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
子ども会加入者数	人	0.00	0.00	7,200.00	7,200.00	6,700.00	6,700.00
		0.00	0.00	7,062.00	7,062.00	0.00	0.00
スカウト加入者数	人	0.00	0.00	470.00	470.00	380.00	380.00
		0.00	0.00	381.00	381.00	0.00	0.00
地域ぐるみ親子ふれあい推進事業実施学区数	箇所	0.00	0.00	21.00	21.00	21.00	21.00
		0.00	0.00	18.00	18.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域に根差した団体の支援であり、市が支援する必要があります。			
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	団体の活動への補助が市民サービスの向上に繋がります。			
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2	目標を下回る進捗状況である	
		3	進捗はかなり遅れている	
理由	団体加入者が減少傾向とみられます。			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	団体役員の負担軽減や活動内容などを研究していきます。			
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も子どもの人数が減少傾向の中、対策を模索しています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地域での子どもたちと異世代の交流あるいは親子のふれあいをおして、子どもたちの健全育成を図っていきます。子ども会役員の負担軽減、指導者・育成者の資質向上、活動の企画・参加が楽しくなるような工夫などを研究し、子ども会の魅力アップにつなげていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02501 青年講座事業

所属長名 久野 晃広
担当者 橋本 美香子
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	001	青年講座事業		
事業期間	昭和27年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				結婚・出産・子育て
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・ユースカレッジ事業 ・ヤングセミナー事業			

【事業分析】

対象	講座に参加する青年男女が
目的	余暇を有効に活用して、生涯学習を行う又は深める機会を提供します。
手段	様々な分野で、青年男女自身の生涯学習となる講座を年間を通じて開催します。
事務内容	講座の企画・立案、開催。講師の選定。受講者の募集。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	4,960	4,153
事業費	0	1,495	1,633
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	107	130
一般財源	0	1,388	1,503
人件費計	0	3,465	2,520
正規（人）	0.00	0.55	0.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		ヤングセミナー講座（ 青年講座）回数 6 ユースカレッジ講座回 数 60	ヤングセミナー講座（ 青年講座）回数 6 ユースカレッジ講座回 数 50

事務事業評価シート（2/2）

6頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02501 青年講座事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ヤングセミナー（青年講座）参加者数	人	0.00	60.00	60.00
		0.00	97.00	0.00
ユースカレッジ修了者数	人	0.00	28.00	20.00
		0.00	23.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ユースカレッジは国内でも珍しいものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ユースカレッジは国内でも珍しいものです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	受講者が自分のためになったと概ね答えています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新たな高校生対象の講座では、業者主体で開催しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	主に社会人対象だった講座開催を、高校生にも広げました。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ユースカレッジ卒業生を講座の講師に活用したり、高校生を対象に自身の将来について考えることをきっかけに高校生活をより充実させることを狙った講座を行うなど、講座の受講をきっかけに学んだことなどを発揮できる機会を作りました。受講者の今後の生活や社会で活躍するきっかけとなる土台作りを進めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02502 成人の日記念事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	002	成人の日記念事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	新たに成人となる者が
目的	成人の日記念式典に参加します。
手段	成人の日記念式典の実施を行い、成人者を祝福するイベントとして「アトラクション」を行います。
事務内容	実行委員会の開催、会場設営・警備会社と契約、記念冊子作成、来賓案内等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	4,085	6,679
事業費	0	3,014	4,978
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	3,014	4,978
人件費計	0	1,071	1,701
正規（人）	0.00	0.17	0.27
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		成人者の式典参加者数 1,819人 （デンパークにて開催）	成人者の式典参加者数 1,700人 （安城市体育館にて開催）

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02502 成人の日記念事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
式典の参加者率	%	0.00 0.00	75.80 82.50	80.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国や県では行っていないものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年開催しており、開催日の問い合わせも多くあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	成人者が企画・運営を行い、職員の人件費を削減しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	天候に左右されない開催方法を検討しました。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	成人者が自ら企画・運営を行うことで職員の人件費削減を実現します。天候に左右されない開催のため、平成31年から会場を安城市体育館に変えて開催します。今後は式典をはじめ内容の充実に取り組んでいく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	002	青少年指導者養成事業		
事業期間	昭和28年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から次に掲げる事業を統合しています。 ・青年指導者養成事業 ・ジュニアリーダー・年少リーダー育成事業 ・市民盆踊りの集い開催事業 平成29年度の公開行政レビューの結果、平成30年度から市民盆踊りの集い開催事業を廃止します。			

【事業分析】

対象	青年たちが
目的	生涯学習の機会を得て、社会活動への参加・交流及び地域のリーダーとしての資質を得ます。
手段	青年たちが行事を企画・実施する能力を養うため、研修会に参加したり企画したものを実施します。
事務内容	研修会開催通知発送、行事企画運営の指導、指導者の育成。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	4,429	2,632
事業費	0	2,287	490
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	2,287	490
人件費計	0	2,142	2,142
正規（人）	0.00	0.34	0.34
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		盆踊り講習会3回 太鼓講習会2回 盆踊りPRうちわ配布 ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数17回 安城市青年団体親善ソフボール大会、バレーボール大会	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数17回

事務事業評価シート (2/2)

10 頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ジュニアリーダークラブ会員数	人	0.00	20.00	20.00
		0.00	21.00	0.00
市民盆踊りの集い参加人数	人	0.00	1,600.00	0.00
		0.00	1,619.00	0.00
企画実行メンバー（養成対象）人数	人	0.00	0.00	5.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域での養成であり、市が関わっていく必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	青年層の企画力増進が市民サービスの向上に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ほぼ目標どおりの進捗です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	市民盆踊りの集いを廃止し、別の形での養成に取り組みます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	養成対象の青年たちは、希望者を募集する形にしていきます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	青年たちの企画力増進などを目的として開催していた市民盆踊りの集いについては、平成29年度で終了しました。平成30年度からは別の形で青年たちの企画力増進などを図っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
平成30年 8月 7日
09時48分30秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02504 青少年愛護センター事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	002	18学校教育		
施策の方針	003	豊かな心やたくましい体の育成と健康教育の推進		
事務事業	010	青少年愛護センター事業		
事業期間	昭和57年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・青少年健全育成会等活動推進事業 ・青少年街頭指導事業 ・こども110番の家設置事業 ・地域のおじさん・おばさん運動推進事業			

【事業分析】

対象	青少年を
目的	地域で見守ることで有害環境から守り、家庭の外での安全性を確保し、青少年の健全育成に資するものです。
手段	青少年に対しての声かけ、こども110番の家ののぼり旗設置による犯罪抑止、各小中高等学校の青少年健全育成会等に活動を委託しています。
事務内容	街頭指導員の任命・研修会実施、謝礼支払。こども110番の家加入状況の管理とのぼり旗の配布。各小中高等学校の青少年健全育成会等との委託契約、活動内容の把握及び指導。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,801	11,573
事業費	0	5,911	8,927
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	6	7
一般財源	0	5,905	8,920
人件費計	0	1,890	2,646
正規（人）	0.00	0.30	0.42
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		健全育成会数 36 健全育成協議会数 9 街頭指導員研修会 1回 非行防止街頭一斉啓発各地区1回 こども110番の家のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査（全件）	健全育成会数 36 健全育成協議会数 9 街頭指導員研修会 1回 非行防止街頭一斉啓発各地区1回 こども110番の家のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査（全件）

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02504 青少年愛護センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
街頭指導実施回数	回	0.00	90.00	100.00
		0.00	111.00	0.00
子ども110番の家設置数	箇所	0.00	1,100.00	1,200.00
		0.00	1,195.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域が基本の事業であり、市の補完が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域で見守る体制が市民サービスの向上に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、上回る進捗状況です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	のぼり旗設置場所一覧を市内の全小学校に配布・周知しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	住民・事業者を問わずのぼり旗を設置できます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子ども110番の家の登録について、平成29年度は商工会議所と連携し、約900件の事業所に登録を案内したところ、約90件の事業所が新規加入していただきました。子ども110番の家ののぼり旗設置数を増加させることで、地域の子どもたちを守るうとする住民意識の高揚に寄与していくとともに、子どもたちのいざという時の避難場所の確保を図っていきます。また、各小中高等学校の青少年健全育成会の街頭指導活動や非行防止の啓発活動を通じて、地域での見守り、家庭の外での安全性確保を進め、青少年を有害環境から守っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
平成30年 8月 7日
09時48分31秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

所属長名 久野 晃広
担当者 田中 千裕
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	001	青少年ボランティア活動支援センター事業		
事業期間	平成15年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	青少年が
目的	ボランティアに登録・活用する人たちから受ける社会教育活動を支援します。
手段	青少年の豊かな人間性を育むため、ボランティア情報の収集・提供、相談などボランティアに関するコーディネートを行うことにより、社会教育活動を支援します。また、指導者や講師を青少年ボランティア活動支援センターへ登録し、青少年活動を支援する人材として活用します。
事務内容	ボランティアの発掘、登録、コーディネート

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	1,547	1,629
事業費	0	917	999
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	917	999
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		青少年ボランティアの コーディネート件数4 7件	青少年ボランティアの コーディネート件数5 0件

事務事業評価シート (2/2)

14 頁
平成30年 8月 7日
09時48分31秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コーディネート件数	件	0.00	50.00	50.00
		0.00	47.00	0.00
登録者数	人	0.00	150.00	50.00
		0.00	49.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域での社会教育活動支援であり、市の補完が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域での社会教育活動支援が、市民サービスの向上に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	登録者数減少は、登録の継続希望を調査した結果によるものです。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	子ども会世話人たちにPRし、その場で派遣希望がありました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	講師派遣はボランティア（無料）です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 青少年ボランティア支援センターに登録した人のフォローアップと活動場所の提供を検討していきます。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

15頁
平成30年 8月 7日
09時48分31秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

所属長名 久野 晃広
担当者 長坂 直江
電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	001	子ども運動広場補助事業		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	子どもたちが
目的	地元の広場で安全に運動できる
手段	町内会が設置する子ども運動広場の新設、修繕、管理にかかる費用を補助金交付要綱に基づき、補助しています。
事務内容	補助金交付要綱に基づき、町内会から申請書受理。その後審査、決定、交付事務。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	24,075	30,444
事業費	0	23,319	29,499
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	23,319	29,499
人件費計	0	756	945
正規（人）	0.00	0.12	0.15
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		23箇所の子ども運動広場に補助	23箇所の子ども運動広場に補助

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
子どもたちの利用回数	回	0.00	3,300.00	3,000.00
		0.00	2,980.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域に存在することで利用しやすさを提供しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域に存在することで利用しやすいものとなっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	高棚子ども運動広場が廃止となったためです。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	設備修繕時の補助金交付申請手続きを簡素化しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	ソフトボール場を想定した補助を要綱に基づき行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本事業は補助金交付事業であり新設・増設・修繕において本当に必要かどうかを審査したうえで補助を行っています。現在はソフトボール場を想定した補助ですが、さらなる活動を可能とするため町内会の要望を基に考慮して補助を行う必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。